事業報告書

1支援団体名	特定非営利活動法人嘉瀬川交流軸
2 事 業 名 称	第 11 回嘉瀬川ダム感謝祭
3 実 施 日 時	令和5年11月5日
4 実 施 場 所	佐賀市立小中一貫校北山校周辺
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 昨年(2022年)11月6日「嘉瀬川ダム竣工10周年記念事業-第10回嘉瀬川ダム感謝祭」の式典において「10回の感謝祭をもって終了したい」旨の宣言を行いましたが、国を挙げて「流域治水」に取り組んでいる今、嘉瀬川流域の「流域治水」の基幹施設である嘉瀬川ダムに対する「感謝の式典」中止すべきでないとの意見が多数寄せられことから、嘉瀬川ダムの最大の受益地である白石土地改良区とNPO法人嘉瀬川交流軸の主催で開催する新たな形式で感謝祭を継続することにしました。上記の目的を達成するため、これまでの感謝祭と同様、神事、感謝祭式典、交流会(直来)を実施しました。
	感謝祭を実施できたことは、土木構造物に対する認識を高める効果があったことと確信している。
6参加内訳	総人数 97 名
	(1) 主催者参加 25 名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 70 名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 2 名
7 今後の方針	これまでの10回の感謝祭は、嘉瀨川ダム周辺の利活用を推進する「水源地域連携・活性化推進協議会」の資金援助を受けて実施することができたが、今年度から資金援助は受けられなくなった。 今後継続して感謝祭を実施する方策を模索した結果、最大の受益者である白石土地改良区と上下流の連携を目指す NPO 法人嘉瀬川交流軸が主催し、関係する一般社団法人等の協賛を得て実施する体制を整えた。今後感謝祭を継続して実施できると確信している。

嘉瀬川ダム感謝祭神事



基調報告:工藤勝次国交省佐賀河川事務所長



直来: 菖蒲御膳&嘉瀬川交流軸提供



直来:参加者談笑風景



直来•交流会:国交省•佐賀県•佐賀市関係者



コラボ企画:「北山がんばっ祭」

